

2021年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年8月11日

上場会社名 日医工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4541 URL <https://www.nichiiko.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 友一
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長 (氏名) 石田 修二 TEL 076-432-2121
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	45,265	△2.7	726	△61.2	491	△71.6	494	△82.7	304	△83.2	290	△84.0
2020年3月期第1四半期	46,523	10.0	1,871	△12.7	1,733	△14.9	2,868	△1.0	1,813	△26.3	1,813	△26.3

	四半期包括利益合計額	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
		円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	193	—	4.54
2020年3月期第1四半期	△957	—	28.44

(注) コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因による損益(非経常項目)を除いて算出しており、売上収益からも非経常的な要因は除外しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	1株当たり親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	327,478	116,315	114,971	35.1	1,797.68
2020年3月期	336,819	117,170	115,826	34.4	1,811.50

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	199,000	4.7	7,500	△6.5	7,500	161.0	5,200	1.3	81.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 新型コロナウイルス感染症拡大による影響を見直すことが困難であるため、上記の業績予想には新型コロナウイルス感染症拡大による影響を織り込んでおりません。今後の状況により業績予想の修正が必要となった場合には速やかにお知らせします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、 除外 一社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	65,162,652株	2020年3月期	65,162,652株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,207,192株	2020年3月期	1,222,817株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	63,945,629株	2020年3月期1Q	63,753,467株

(注)期末自己株式数には、従業員持株会専用信託が所有する株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2020年8月11日(火)に決算補足説明資料を当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、4月に新型コロナウイルス感染症拡大を受けた緊急事態宣言が発令され、その後緊急事態宣言が解除されてもまだ新型コロナウイルス感染症第2波の到来が懸念されており、先行き不透明な状況が続いております。

後発医薬品業界におきましては、「2020年9月までに後発医薬品の使用割合80%」の目標に向けた各種後発医薬品使用促進策が講じられてきたこともあり、2020年1～3月における後発医薬品使用割合は78.5%（日本ジェネリック製薬協会：ジェネリック医薬品シェア分析結果）にまで高まっております。しかしながら一方で、2019年10月、2020年4月と短期間に薬価改定が二度実施され（2019年10月は消費税率引き上げに伴う改定）、さらにこれまで検討されてきた毎年の薬価改定について、2021年度は本年の薬価調査を踏まえ、新型コロナウイルス感染症による影響等を十分検討してから決定するとされてはいますが、一層の収益力向上が求められる状況となっております。

A. セグメント別の業績

(単位:百万円)	日医工グループ			Sagent グループ		
	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	増減	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	増減
売上収益	39,761	36,399	▲3,361	6,761	8,914	+2,152
コア営業利益	2,496	1,237	▲1,258	▲625	▲511	+114

(注) 1. セグメント区分は、「日医工グループ」「Sagent グループ」の2つのセグメント区分としており、「Sagent グループ」は、Sagent Pharmaceuticals, Inc. 及びその連結子会社で構成され、「日医工グループ」は、「Sagent グループ」を除いた会社にて構成されております。

2. 当社グループでは、経常的な収益性を示す指標として「コア営業利益」を採用しており、セグメント利益にも「コア営業利益」を採用しております。「コア営業利益」は営業利益から非経常的な要因による損益を除いて算出しており、売上収益からも非経常的な要因は除外しております。

①日医工グループ

当第1四半期連結累計期間の日医工グループにおける業績は、2020年6月追補収載品の立ち上がりは堅調であったものの、2019年10月及び2020年4月の薬価改定による薬価引き下げや新型コロナウイルス感染症の影響などから、売上収益は363億99百万円（前年同期比33億61百万円減）、セグメント利益は12億37百万円（前年同期比12億58百万円減）と減収減益となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間においては下記の施策を行っております。

2020年6月には、『エルデカルシトールカプセル「日医工」』、『ピルフェニドン錠「日医工」』を含む新製品11成分21製品が薬価基準収載され、製品ラインアップの拡充を図るとともに、これまでに11自治体と連携協定を締結し、健康・生命に関わる企業として、当社が培ってきた知見・ノウハウを活かして、社会・地域の課題解決に向けた取り組みを進めております。

また、企業価値向上・グローバル総合ジェネリックメーカーへの進化に資するものとして、2020年7月に武田テバファーマ株式会社（以下、「武田テバ」）が保有するジェネリック医薬品及び高山工場に係る事業を譲り受けることを目的として新たに設立される株式会社の全株式を当社が取得することを、テバ・ファーマスーティカル・インダストリーズ社、武田薬品工業株式会社及び武田テバとの間で合意いたしております。

②Sagent グループ

当第1四半期連結累計期間のSagent グループの業績は、新型コロナウイルス感染症による受診抑制や手術延期の減収要因があったものの前期上市品や新型コロナウイルス関連製品の売上伸長により、売上収益は89億14百万円（前年同期比21億52百万円増）となったものの、5億11百万円のセグメント損失（前年同期比1億14百万円増）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間においては下記の施策を行っております。

Sagent・ローリー工場及びOmega・モンリオール工場における内製化や自社製造能力の拡充に引き続き努めてコスト競争力・安定供給能力の強化を図るとともに、米国市場でのバイオシミラー・オーファンドラッグの早期上市に向けた取り組みも強化しております。

B. グループ全体の業績

(単位:百万円)	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	増減
売上収益	46,523	45,265	▲1,258
コア営業利益	1,871	726	▲1,144
税引前四半期利益	2,868	494	▲2,373
親会社の所有者に帰属する四半期利益	1,813	290	▲1,522
希薄化後1株当たり四半期利益	28.25	4.54	▲23.71

(注) 当社グループでは、経常的な収益性を示す指標として「コア営業利益」を採用しております。「コア営業利益」は営業利益から非経常的な要因による損益を除いて算出しております。

売上収益は、Sagent グループは増収も日医工グループの減収があり、前年同期比12億58百万円の減収となりました。

コア営業利益は、Sagent グループは増益も日医工グループの減益があり、前年同期比11億44百万円の減益となりました。

税引前四半期利益は、前年同期にAprogen Inc. 株式の一部売却による売却益の計上があったことなどにより、前年同期比23億73百万円の減益となりました。

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比15億22百万円の減益となりました。

新型コロナウイルス感染症に関して、当社グループでは、テレワークの実施・特別休暇の付与・各部署の執務場所分散等による感染拡大防止に努めており、これまでのところ当社グループ全生産拠点で、通常通りの稼働を続けております。また、原薬調達等にも大きな影響は出ておりません。一方で売上については、受診抑制による減少傾向が見られましたが、緊急事態宣言解除後の6月以降は持ち直してきております。

別途新型コロナウイルス感染症に関連した治療薬候補として当社の『フサン®』が挙がっており、その有効性等を確認するための臨床試験が国内外で行われております。当社は、治験協力のため、『フサン®』の無償提供を行うとともに、現在進めている愛知工場における生産ラインの増設などで、『フサン®』が治療薬として認可された場合にも対応できるよう増産体制の構築を進めております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ93億40百万円減少し、3,274億78百万円となりました。これは主に以下の要因によるものであります。

	増減額 (百万円)	主な要因
現金及び現金同等物	△5,301	借入金の返済、富山工場・愛知工場・埼玉工場・静岡工場の製造設備代金の支払など
売上債権及びその他の債権	△9,949	新型コロナウイルスの緊急事態宣言発令及び米国の一部の州でのロックダウン発令による受診抑制、2020年4月の薬価改正による売上減少など
棚卸資産	+4,580	上記売上減少による棚卸資産増加など
無形資産	+1,376	バイオシミラー及びジェネリック医薬品の開発投資など

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ84億86百万円減少し、2,111億62百万円となりました。これは主に以下の要因によるものであります。

	増減額 (百万円)	主な要因
仕入債務及びその他の債務	△5,535	仕入価格の値下げ、季節変動品の仕入代金の決済など
借入金	△2,356	借入金の返済など

当第1四半期連結会計期間末の資本につきましては、前連結会計年度末に比べ8億54百万円減少し、1,163億15百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ53億1百万円減少し、376億42百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況の詳細は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、当第1四半期連結累計期間において45億45百万円の収入超過となりました。これは主に以下の要因によるものであります。

内容	金額 (百万円)
棚卸資産の増加	△4,614
減価償却費及び償却費の計上	+3,042
売上債権及びその他の債権の減少	+9,809
仕入債務及びその他の債務の減少	△4,269

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、当第1四半期連結累計期間において58億83百万円の支出超過となりました。これは主に以下の要因によるものであります。

内容	金額 (百万円)
有形固定資産の取得による支出	△2,880
無形資産の取得による支出	△3,032

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、当第1四半期連結累計期間において36億14百万円の支出超過となりました。これは主に以下の要因によるものであります。

内容	金額 (百万円)
借入金の純減	△2,233
配当金の支払	△897

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月18日に公表いたしました連結業績予想から修正を行っておりません。

公表済みの連結業績予想については、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を織り込んでおりません。今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況により、業績予想の修正が必要となった場合は速やかにお知らせいたします。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	42,944	37,642
売上債権及びその他の債権	39,923	29,973
棚卸資産	78,127	82,708
未収法人所得税	-	569
その他の金融資産	425	425
その他の流動資産	3,287	1,814
流動資産合計	164,708	153,133
非流動資産		
有形固定資産	59,201	59,565
のれん	44,322	44,109
無形資産	56,607	57,984
持分法で会計処理されている投資	2,066	2,034
その他の金融資産	7,925	8,290
繰延税金資産	10	11
その他の非流動資産	1,975	2,349
非流動資産合計	172,110	174,345
資産合計	336,819	327,478

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	61,750	56,215
借入金	46,747	46,411
その他の金融負債	1,722	1,708
未払法人所得税	214	83
返金負債	3,270	2,605
契約負債	116	116
その他の流動負債	8,868	8,779
流動負債合計	122,690	115,921
非流動負債		
借入金	87,045	85,025
その他の金融負債	2,257	2,078
退職給付に係る負債	945	963
引当金	81	82
返金負債	95	132
契約負債	748	719
繰延税金負債	4,521	5,011
その他の非流動負債	1,262	1,229
非流動負債合計	96,958	95,241
負債合計	219,648	211,162
資本		
資本金	23,360	23,360
資本剰余金	21,896	21,896
その他の資本性金融商品	9,918	9,918
自己株式	△2,562	△2,538
利益剰余金	57,365	56,583
その他の資本の構成要素	5,848	5,750
親会社の所有者に帰属する持分合計	115,826	114,971
非支配持分	1,343	1,344
資本合計	117,170	116,315
負債及び資本合計	336,819	327,478

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上収益	46,523	45,265
売上原価	36,830	37,178
売上総利益	9,693	8,087
販売費及び一般管理費	6,698	6,712
研究開発費	1,288	776
その他の営業収益	223	76
その他の営業費用	195	183
営業利益	1,733	491
金融収益	35	140
金融費用	524	206
持分法による投資損益	46	69
その他の収益	1,762	-
その他の費用	185	-
税引前四半期利益	2,868	494
法人所得税費用	1,055	190
四半期利益	1,813	304
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,813	290
非支配持分	△0	14
四半期利益	1,813	304
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	28.44	4.54
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	28.25	4.54

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期利益	1,813	304
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△711	276
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△49	△0
純損益に振り替えられることのない項目合計	△761	275
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1,943	△387
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△66	-
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△2,009	△387
その他の包括利益(税引後)	△2,770	△111
四半期包括利益	△957	193
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△957	192
非支配持分	0	0
四半期包括利益	△957	193

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	その他の資本 性金融商品	自己株式	利益剰余金	在外営業活 動体の換算 差額	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産
2019年4月1日時点の残高	23,360	21,896	9,918	△2,893	55,016	6,367	2,371
会計方針の変更					△66		
修正再表示後の残高	23,360	21,896	9,918	△2,893	54,950	6,367	2,371
四半期利益(△は損失)					1,813		
その他の包括利益						△2,009	△761
四半期包括利益合計	-	-	-	-	1,813	△2,009	△761
新株の発行に係る直接発行費用		△5					
その他の資本性金融商品の所有者に 対する分配					△130		
自己株式の処分		△5		39			
配当(注)					△956		
利益剰余金から資本剰余金への振替		4			△4		
その他の資本の構成要素からの振替					114		△114
所有者との取引額合計	-	△5	-	39	△977	-	△114
2019年6月30日時点の残高	23,360	21,890	9,918	△2,854	55,787	4,358	1,496

	親会社の所有者に帰属する持分					非支配持分	合計
	その他の資本の構成要素			合計			
	確定給付制 度の再測定	その他	合計				
2019年4月1日時点の残高	-	285	9,025	116,323	0	116,323	
会計方針の変更				△66		△66	
修正再表示後の残高	-	285	9,025	116,257	0	116,257	
四半期利益(△は損失)				1,813	△0	1,813	
その他の包括利益	0		△2,770	△2,770	0	△2,770	
四半期包括利益合計	0	-	△2,770	△957	0	△957	
新株の発行に係る直接発行費用				△5		△5	
その他の資本性金融商品の所有者に 対する分配				△130		△130	
自己株式の処分				33		33	
配当(注)				△956		△956	
利益剰余金から資本剰余金への振替				-		-	
その他の資本の構成要素からの振替	△0		△114	-		-	
所有者との取引額合計	△0	-	△114	△1,057	-	△1,057	
2019年6月30日時点の残高	-	285	6,140	114,243	0	114,243	

(注) 配当の金額には従業員持株会専用信託への配当金額を含めておりません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	その他の資本 性金融商品	自己株式	利益剰余金	在外営業活 動体の換算 差額	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産
2020年4月1日時点の残高	23,360	21,896	9,918	△2,562	57,365	4,339	1,235
四半期利益(△は損失)					290		
その他の包括利益						△373	275
四半期包括利益合計	-	-	-	-	290	△373	275
その他の資本性金融商品の所有者に 対する分配					△109		
自己株式の取得				△0			
自己株式の処分		△3		24			
配当(注)					△959		
利益剰余金から資本剰余金への振替		3			△3		
所有者との取引額合計	-	-	-	24	△1,072	-	-
2020年6月30日時点の残高	23,360	21,896	9,918	△2,538	56,583	3,965	1,510

	親会社の所有者に帰属する持分					非支配持分	合計
	その他の資本の構成要素			合計			
	確定給付制 度の再測定	その他	合計				
2020年4月1日時点の残高	-	274	5,848	115,826	1,343	117,170	
四半期利益(△は損失)				290	14	304	
その他の包括利益			△97	△97	△13	△111	
四半期包括利益合計	-	-	△97	192	0	193	
その他の資本性金融商品の所有者に 対する分配				△109		△109	
自己株式の取得				△0		△0	
自己株式の処分				21		21	
配当(注)				△959		△959	
利益剰余金から資本剰余金への振替				-		-	
所有者との取引額合計	-	-	-	△1,047	-	△1,047	
2020年6月30日時点の残高	-	274	5,750	114,971	1,344	116,315	

(注) 配当の金額には従業員持株会専用信託への配当金額を含めておりません。

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	2,868	494
減価償却費及び償却費	2,844	3,042
受取利息及び受取配当金	△35	△73
支払利息	147	142
持分法による投資損益(△は益)	△46	△69
関連会社株式売却損益(△は益)	△1,762	-
売上債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	6,455	9,809
棚卸資産の増減額(△は増加)	△957	△4,614
仕入債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△1,031	△4,269
引当金の増減額(△は減少)	60	△643
その他	△503	824
小計	8,038	4,643
配当金の受取額	83	57
利息の受取額	0	0
利息の支払額	△141	△140
法人所得税の支払額	△331	△153
法人所得税の還付額	10	138
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,659	4,545
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,411	△2,880
無形資産の取得による支出	△3,549	△3,032
持分法で会計処理されている投資の売却による収入	3,200	-
貸付金の回収による収入	17	-
子会社の取得による支出	△5,832	-
その他	2	29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,573	△5,883
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△699	58
長期借入金の返済による支出	△1,571	△2,292
リース負債の返済による支出	△488	△394
配当金の支払額	△880	△897
その他の資本性金融商品の所有者に対する分配額	△130	△109
その他	28	20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,741	△3,614
現金及び現金同等物に係る換算差額	△172	△349
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,828	△5,301
現金及び現金同等物の期首残高	42,093	42,944
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,265	37,642

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメント

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、前連結会計年度より2022年3月期を最終年度とする第8次中期経営計画「NEXUS∞」を策定いたしました。「NEXUS∞」では『無限大の連繋力で今を超える』をテーマとして3つのシナジー（「領域/地域」「コスト」「人財」）を最大化し、4つの基本戦略「事業領域のさらなる深化/進化」「徹底したオペレーション最適化の追求」「グローバル水準の品質確保、競争力強化」「ESG活動を基盤としたライフサイエンス企業としての信頼確保」を取り組むことによって、グローバル総合ジェネリックメーカーへとさらなる進化を遂げることを目指しており、目標値の一つとして2022年3月期の海外売上高600億円を設定しております。報告セグメント区分は「日医工グループ」「Sagent グループ」の2つのセグメント区分としており、「Sagent グループ」は、Sagent Pharmaceuticals, Inc. 及びその連結子会社で構成され、「日医工グループ」は、「Sagent グループ」を除いた会社にて構成されています。

報告セグメントの売上収益、セグメント利益又は損失は以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	連結
	日医工グループ	Sagentグループ	合計		
売上収益					
外部収益	39,761	6,761	46,523	-	46,523
セグメント間収益	-	-	-	-	-
合計	39,761	6,761	46,523	-	46,523
セグメント利益又は損失(△) (コア営業利益) (注)	2,496	△625	1,871	-	1,871

(注)コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因による損益を除いております。

当第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	連結
	日医工グループ	Sagentグループ	合計		
売上収益					
外部収益	36,399	8,914	45,314	-	45,314
セグメント間収益	-	-	-	-	-
合計	36,399	8,914	45,314	-	45,314
セグメント利益又は損失(△) (コア営業利益) (注)	1,237	△511	726	-	726

(注)コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因による損益を除いており、売上収益からも非経常的な要因は除外しております。

報告セグメントの合計額と要約四半期連結財務諸表計上額の差異の調整は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上収益計	46,523	45,314
自主回収返品引当	-	49
要約四半期連結財務諸表上の売上収益	46,523	45,265

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
セグメント利益	1,871	726
統合関連費用	137	-
自主回収費用	-	234
その他	0	-
営業利益	1,733	491
金融収益	35	140
金融費用	524	206
持分法による投資損益	46	69
その他の収益	1,762	-
その他の費用	185	-
税引前四半期利益	2,868	494

(2) 製品及びサービスに関する情報

製品及びサービスごとの売上収益は以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント		
	日医工 グループ	Sagent グループ	合計
循環器官用薬	9,026	-	9,026
血液及び体液用薬	7,228	-	7,228
神経系用薬	4,377	-	4,377
抗生物質	2,500	2,404	4,904
消化器官用薬	4,318	-	4,318
化学療法剤	631	2,272	2,904
アレルギー用薬	3,758	-	3,758
その他	7,919	2,085	10,004
合計	39,761	6,761	46,523

当第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント		
	日医工 グループ	Sagent グループ	合計
循環器官用薬	7,547	-	7,547
血液及び体液用薬	6,884	-	6,884
神経系用薬	4,415	-	4,415
抗生物質	1,893	2,277	4,171
消化器官用薬	3,808	-	3,808
化学療法剤	599	2,715	3,315
アレルギー用薬	3,144	-	3,144
その他	8,106	3,920	12,027
合計	36,399	8,914	45,314

（注）コア営業利益と同様に、売上収益から非経常的な要因は除外しております。

(3) 地域別に関する情報

売上収益の地域別内訳は以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント		
	日医工 グループ	Sagent グループ	合計
日本	39,705	-	39,705
米国	-	5,776	5,776
その他	56	985	1,041
合計	39,761	6,761	46,523

当第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント		
	日医工 グループ	Sagent グループ	合計
日本	36,367	-	36,367
米国	-	7,907	7,907
その他	32	1,007	1,039
合計	36,399	8,914	45,314

(注) 1. 売上収益は、販売仕向先の所在地によっています。

2. コア営業利益と同様に、売上収益から非経常的な要因は除外しております。